

# 宮城県石巻市でボランティア活動

日本共産党市議団



仙石線渡波（わたのほ）駅前での支援物資の配布。準備しているところ。



共産党の石巻市ボランティアセンター。



石巻漁港付近の被災地の真ん中に建てられた看板。復興への熱い思いが伝わってくる。



石巻市でのボランティア活動を紹介します。

私、鈴木えつおは、岡村しん、西村あつ子、田辺良彦議員とともに、6月3日〜5日まで宮城県石巻市でボランティア活動に

（おがつ）町にあり、ここも大きな被害を受けました。暗い夜道の両側に、がれきの山や壊れた家々がヘッドライトで映し出されました。

取り組みました。狛江から車で約7時間。石巻市中心部にある共産党のボランティアセンター（写真）で説明を受け、夜8時すぎに宿に着。宿は市内雄勝

翌日は電車が通っていない仙石線渡波（せんせきせん・わたのほ）駅前で救援物資の配布（写真）。全国から寄せられた野菜や日用品、衣類などを並べました。世田谷からきたボランティア20人は豚汁

の炊き出しを行いました。駅前には、自宅で避難生活をしていてと思われる約300人の被災者が続々と集まり、次々に物資を受け取っていました。豚汁も全部なくなりまし

た。石巻市役所に自宅の全壊の申請をしてきたという高齢の女性は「こういう場に出会うのは初めてです。ありがとうございます。話をしています。」と話していました。



アパートの部屋の片づけ。海水を吸って重くなった畳や布団、引き出しが動かないタンスを壊して外に出し、床にたまった泥をスコップでかきだした。家族が写った写真もあった。

翌日は、津波で一階の天井近くまで海水につかってしまったアパート2部屋の片づけを行いました（写



被災地を一望できる日和山公園の慰霊の場所。みんなで手を合わせた。



石巻漁港の防波堤に打ち上げられたタンク。近くで腐った魚を海に捨てる作業が行われていて、無数のカモメが群がっていた。



宿泊場所近くの雄勝町大須漁港。地元の人のがれきを燃やしていた。

## 震災不況の中、市内商工業の振興へ 商品券、住宅リフォーム継続を

私、鈴木えつおは、6月議会の一一般質問で商工業の振興もとりあげました。今年3〜4月に実施した狛江わくわく商品券事業や5月に募集された住宅リフォーム助成が大きな成果を上げており、これらの事業の継続を求めました。

市の仕事を市内業者に保育園の耐震改修など

市の仕事を市内業者に発注するとりくみの促進では、

建設環境部長は「住宅リフォーム助成の今後の継続については関係部署と検討

分割発注で学校体育館の改修工事で市内業者が受注している」と答えました。

## 路上喫煙防止条例の制定を タバコによる健康被害は深刻

市では、路上喫煙防止条例を検討しています。

福祉保健部長は「たばこ一本の煙には約50種類の発がん物質が含まれている。

私、鈴木えつおは、検討状況とタバコによる健康被害についてただし、条例制定の促進を要望しました。

特になん、心疾患、肺疾患など喫煙による影響が大。受動喫煙の害も深刻、建

真）。海水を吸って重くなっ

た畳の感触が今も手に残って

ひきつづき支援をおこなっ

**なんでもお気軽に  
ご相談ください**

連絡先：自宅 3488-8839  
駒井町 3-18-5  
携帯電話 090-7280-7361  
議会控室 3430-1177

日本共産党市議会議員  
**鈴木えつお**